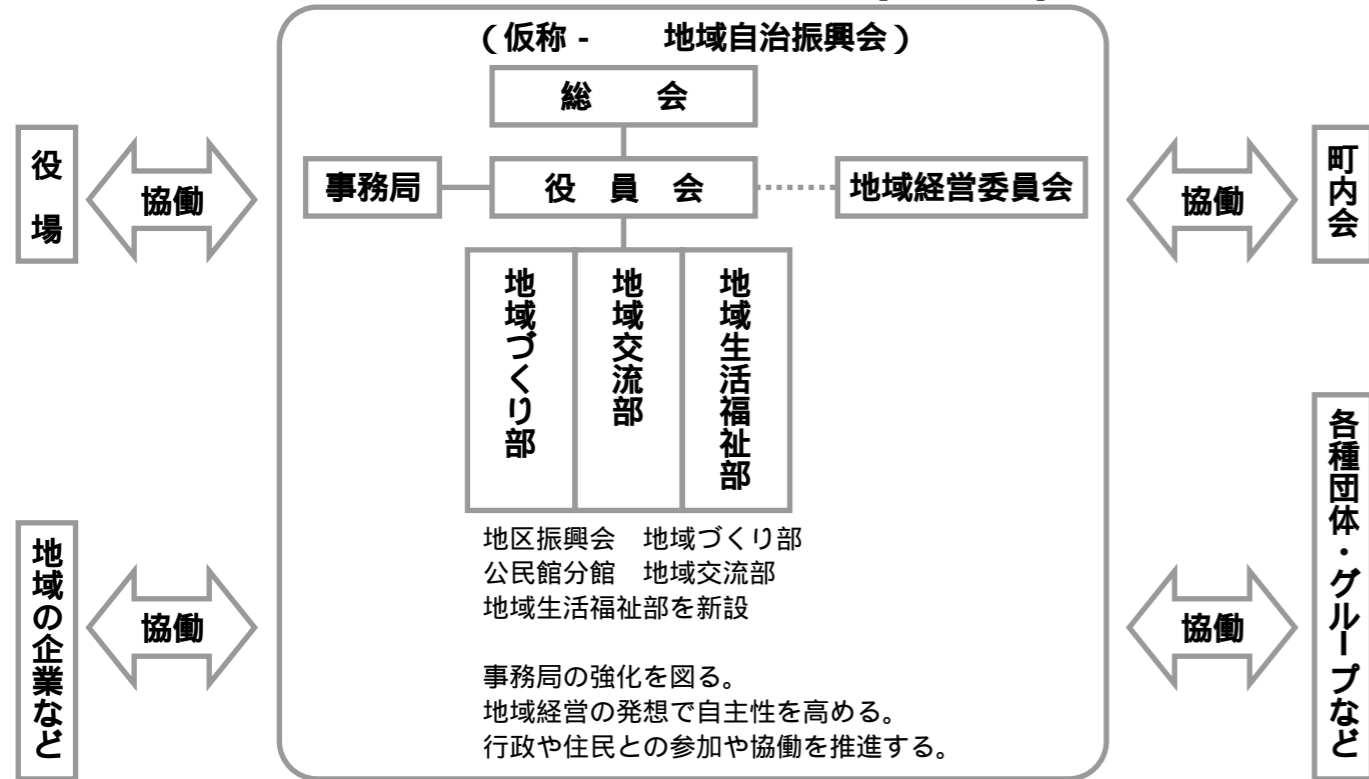
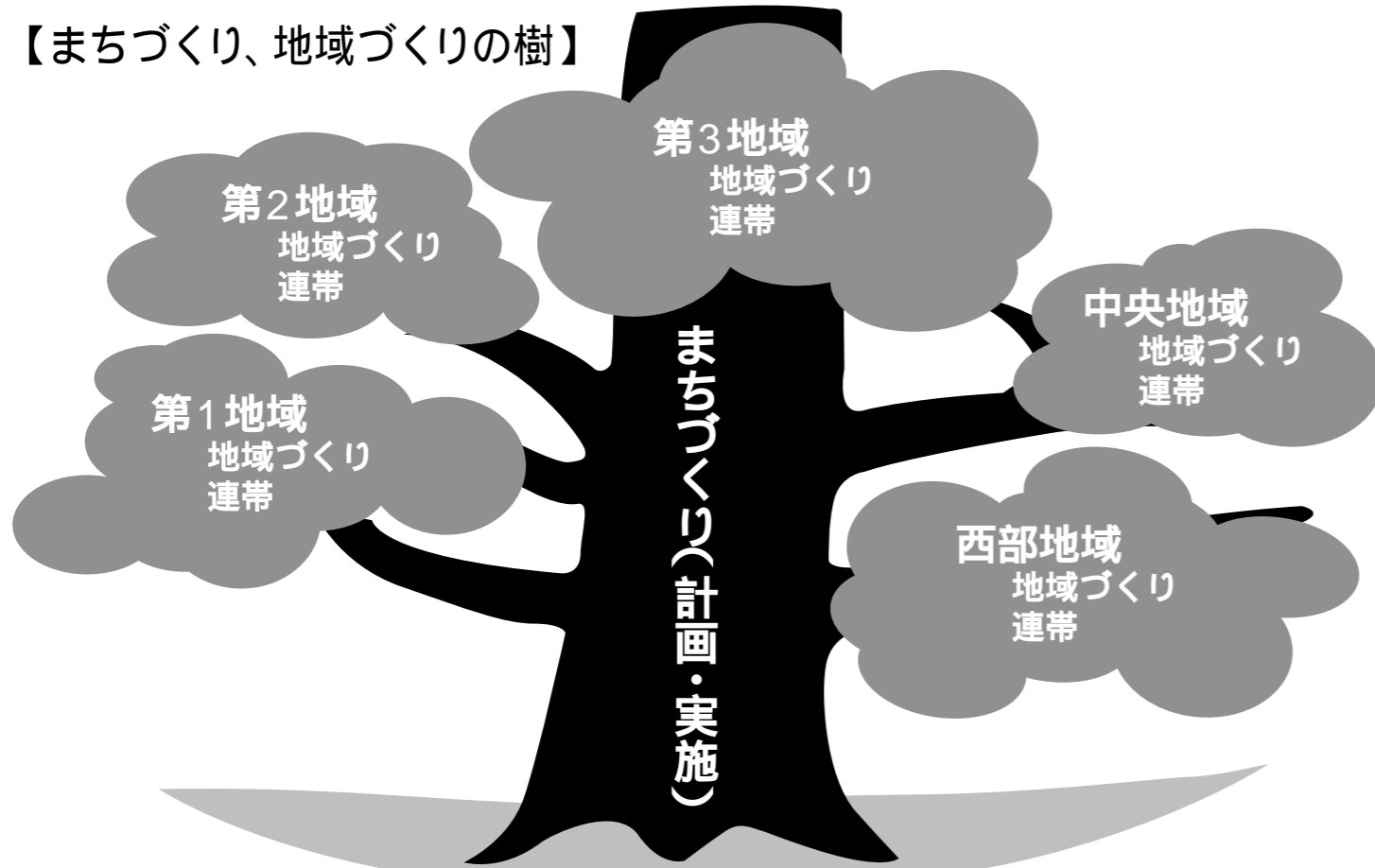


【これからの中地域の組織】

地域の一体的・総合的な組織(モデル)



【まちづくり、地域づくりの樹】



町木 カツラ (桂)

「カツラ」は、開拓当時から町内に自生していますが、今では少なくなりその大樹は大雪遊水公園で見られます。根がしっかりしていて、樹齢も長く、そびえ立つその姿は、力強く躍進する町にふさわしいことから町木になりました。漢字は、木へんに「圭」で、圭は整っているとの意味があり、美しく穏やかな木ともいわれています。

地域はどこへ

- 参加と協働のまちづくり -

これからのまちづくりは、特に参加(意見を述べる。提案する。)や協働(協力、協調して活動する。)が重要になってきます。昨年、23名の委員による地域コミュニティ推進検討委員会が設置され、町内会(行政区)や中地域(公民館分館区域)の組織や団体、活動のあり方について検討しました。

= 町内会は、今のままで良いのか =

町内会については、呼称(行政区と町内会は違うのか)、会費や協賛金、未加入者の問題、行政区の再編成など多くの意見が出されました。

町内会は、そこに住む人たちが生活に密着するゴミや環境などについて自らのことと自覚して主体的に取り組むと共に、様々な行事を通じて隣人同士の絆を強め、互いに助け合うための活動をする重要な役割を担っています。併せて、役場からの情報(行政情報)を伝達する役割も果たしています。町内会の様々な問題は、そこに住む人たちが情報を共有して、互譲の精神を持ちながら、より良い方向を探り解決していくことが大切になります。「誰かがやるだろう。自分には関係ない。」では、何も解決しません。みんなで話し合い、みんなで協力し、みんな良くしていくことが豊かな地域や生活に通じるのではないのでしょうか。

= 公民館分館や地区振興会の役割は =

主に小学校の区域を基本とする中地域では、スポーツやレクリエーションなどの公民館活動が展開されています。その活動の核になっているのが各地域の公民館分館です。一方、各地域には地区振興会があり、地域発展の重要な役割を担っています。

この二つの組織や団体が今まで地域のために多くの実績を残し、地域の発展のために尽くしてきたことは大いに評価されます。しかし、社会は大きく変化し、21世紀は地方分権の時代となり、住民自治を基本として地域づくりやまちづくりを推進しようとした場合、これ等の組織を統合して総合的な組織に衣替えし、地域の一体性を強化する必要があります。今後、参加と協働の地域コミュニティを推進するために、地域組織の再編成に向けて組織や団体と連携して取り組まなければなりません。

《行政区(町内会)》

行政区の呼び名を町内会へ統一を。

町内会未加入者には、役員などが積極的に加入を呼びかける。

役員は、選出方法を考えて協力体制が組めるように工夫する。(年齢を理由に拒否しない。)

行事や活動への参加が少なくなる傾向にあるが、内容をよく検討して参加し易い方法を考える。

会費や協賛金、寄付金については、目的や用途をよく説明して理解を得る。

新しい住民との融和を図るためにはコミュニケーションが大切なので、回覧ではなく訪問して面接で対応している町内会がある。

行政区の再編成に取り組む。

《中地域》

地域の連帯感や共同の意識が薄れてきている。個人主義が強すぎる。

防災の連絡体制が充分でない。

高齢化社会の福祉ネットワークやサポート体制が充分でない。

行政にお任せから地域の主体性が発揮できる体制や地域の公職者、団体などが連携して一体的な地域運営、地域づくりができるように地域コミュニティを考えていかなければならない(「これからの中地域の組織」)

(検討委員会の報告より)

募集

待ち人来たれ 共に学び、共に実践

住民自治の基本は、参加や協働で、「住んでよかった。住み続けたい。」そんな町にするのは誰なのでしょう。小さな芽(自立への望み)を大きく育てて(自主・自律)みませんか。そんな思いや地域づくりに関心のある人を募集しています。白紙から勉強してみませんか。

(地域自治推進室 ☎82-2111(261))